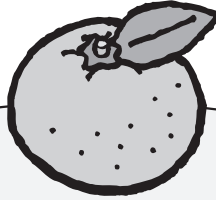


新春の図書館を詠む



今日だけは
本より楽しみ
年賀状
桜子

初風^{はつかぜ}に
たゆみ直ぐ立つ
みどり竹
日向雅

春光の
手元の本を
てらすあさ
多作一景

初空に
未来へ行くの
飛行機雲
心胤

図書館の
あちらこちらで
真剣勝負
和紀

老いて尚夢
辞書を枕に
初春の酒
多聞

新年に
色とりどりの
年賀状
よし子

書き初めの
抱負に「読書」
したためる
すこっぺい

千丈^{えん}みくじ
平々凡々
吉が良し
欽作

だんだんと
鏡もちのように
積まれる本
ゆつきー

年始め
心機一転
新曆^{しんれき}
多誤作

気が付けば
読書で迎えた
初日の出
もへ

お年玉
現金よりも
旅行本
金丈朗

書き初めと
同じ気持ちで
本開く
遊丞

今年こそッ
枕にしくのは
『断捨離』
アメリ

頓珍漢・素人俳壇



これらの俳句は本学園の学生・教職員の方々から投句いただいたものです。